

# 礼拝プログラム

2016年11月13日

司会:西井兄 奏楽:ボウト姉 通訳:細松兄

前奏 Prelude

賛美 Hymn

使徒信条 \* Apostle's Creed

牧会祈祷 Pastoral Prayer

感謝献金 Offering

メッセージ Sermon

『人間であるということは・・・』

“To be human...”

賛美 Hymn

頌栄 Doxology

祝祷 \* Benediction

\*印箇所は起立ですが、起立が困難な方は着席のままで結構です。礼拝メッセージは英語に訳されます。必要な機器を会堂入口にてお求めください。Please feel free to remain seated or sit down when the congregation is asked to stand. The sermon will be translated from Japanese to English. You can pick up a translator device at the entrance of sanctuary.

アッシャー: 川久姉、スカーレット姉、

グリーター: 福島姉、スコット姉

ナーサリー: 本多姉、ホッグ姉

チルドレンチャーチ: 大倉姉、仰兄、奏姉

## 来週、20日の礼拝

司会:福島兄 奏楽:西井姉 通訳:シーラ姉

メッセージ:「あなたは感謝によって変わります」

賛美:新聖歌20、新聖歌172

アッシャー: 福島姉、ピアス姉

グリーター: 須波姉、バークスデル姉

ナーサリー: 西井姉、ストーン姉

チルドレンチャーチ: ラスカリス兄姉、奏姉

## お知らせ

本日の礼拝後の予定  
コーヒーアワー、バイブルスタディー、  
カレーランチ、ゴスペルフラ

■今日の礼拝ようこそいらっしゃいました。心より歓迎します。また続けてお越しください。

■今日は宣教献金の日です。これらは藤間ファミリー、マウントオーブ・ミニストリー、ノースカウンティ教会、サウスベイ教会、ラスベガス教会、ツーン教会、プレント・キング師、ケブン・ウエスト師のはたらきのために捧げられます。

■今日はユースとその家族がカレーの準備とサーブをし、一月にもたれるウィンター・ビジョンのためのファンドレイズとさせていただきます。一人でも多くの若者がウィンター・ビジョンに参加できますように、ご協力をよろしくお願ひします。

■来週日曜日はサンクスギビング礼拝です。主の御前に感謝を捧げましょう。また11月23日(水)、午後七時よりサンクスギビングイブサービスがもたれます。

■11月24日(木)、午後五時よりボウト宅にてサンクスギビング、ポットラックディナーを楽しみます。どなたもどうぞ。事前にボウト兄姉に出席するということとポットラックについて伝えてください。

■11月27日(日)、礼拝後に礼拝奉仕者(司会者、奏楽者、賛美チーム、グリーター、アッシャー)のミーティングをもちますので今から予定に入れておいてください。

■2017年1月6日(金)、7日(土)に昨年と同じ場所で(Fullerton)新年聖会がもたれます。申込書をお配りしました。締め切りは12月11日です。英子姉に申込書とチェックをお渡しください。新年まず主と向き合ひましょう!

◆理事会では教会駐車場について駐車優先スペース確保の話し合いがなされています。ご高齢の方や身体上の理由でフロントパーキング(もしくはバックパーキング)に駐車する必要がある方は八尋ホールの用紙にお名前をお書きください。

## 今週の予定

16日(水)	水曜集会	7:30pm-
17日(木)	木曜集会	10:30am-
19日(土)	母子の会	10:00am-
	ユース	6:30am-
20日(日)	日英合同執事会	

## 客不恵

『遠い太古のことを思い出せ、わたしが神である。他にはいない。わたしのような神はいない。わたしは終わりの事を初めから告げ、また成されていない事を昔から告げ「わたしのはかりごとは成就し、わたしの望む事を全て成し遂げる」と言う』(イザヤ46:9-10)

大統領選挙が終わり、私達は色々な思いをもちながら、この国の未来に祈りと思いを寄せています。

信仰をもつということは目の前で起きている出来事に対する観方が変わることであり、それゆえにそのことに対する解釈も変わることを意味します。もし私達が人生に対して原則をもたず、混沌とした中で生活しているなら、そこに起きてくることは運命のいたずらでしかないでしょう。しかし、神の存在を信じ、この世界の本当の主権者は神であるということを知るのなら、目の前に起きていることも神の視野の中にあることであり、そこにも意味があるということが分かってきます。そうなりますと試みの中にも神のメッセージを聴くことができるようになります。

この度の大統領選挙について、私は毎週持たれているバイブルスタディーでダニエル書を学んでいて本当に良かったと思えました。そこにはバビロン、ペルシア、ギリシアという異教の国々、そして諸々の王達の姿が描かれています(預言されています)。時にイスラエルはこれらの国の捕囚民となり、多くの困難に直面しますが、神の御手は常に彼らと共にありました。主権者なる神は異教の王達をも用いて、その御心をなされたのです。今日、その歴史の一つ一つを見ていきます時に、それらの困難はイスラエルにとって(私達にとりまして)、不可欠なことであったのだということが分かるのです(これが神の御手の中にあるということです)。

この先、世界に何が起きようとも、その背後にある主権者の存在を私達は片時も忘れてはなりません。現在起きていることと、聖書に記録されている神の物語を照らし合わせるにより見えてくること、このようなところに聖書を学ぶことの大きな意義があるのです。